

E1A 新東名高速道路（海老名南 JCT～御殿場 JCT）連絡調整会議（第 6 回）
議事概要

1. 日 時：2024 年 11 月 21 日（木） 11：00～12：00

2. 構成機関：

関東地方整備局 横浜国道事務所
中部地方整備局 沼津河川国道事務所
神奈川県 県土整備局 道路部
静岡県 交通基盤部 道路局
秦野市 建設部
松田町 まちづくり課
山北町 都市整備課
小山町 都市基盤部
御殿場市 都市建設部
中日本高速道路 東京支社 建設事業部
中日本高速道路 東京支社 秦野工事事務所
中日本高速道路 東京支社 沼津工事事務所

3. 議事概要：

（中日本高速道路より説明）

- 海老名南 JCT～新秦野 IC、新御殿場 IC～御殿場 JCT は、2022 年 4 月までに開通済み。
- 新秦野 IC～新御殿場 IC 間は、橋梁区間が約 2 割、トンネル区間が約 5 割と構造物比率が高く、特に松田町や山北町域では急峻かつ狭隘な山岳地形であるため、大規模な橋梁やトンネルの工事となるが、全域において着実に工事を進めている。
- 高松トンネルにおいては、脆弱な地山の出現や湧水など、自然的要因のリスクが発生し、引き続き掘削が難航しているが、2027 年度の開通に向け、周辺環境に配慮し、安全かつ慎重に工事を進めている。

（意見交換）

- ・新東名高速道路は、東名高速道路とともにダブルネットワークを形成し、交通混雑の緩和や高速性・定時性の確保、大規模災害時における緊急輸送など、様々な役割を担う重要な道路であり、大きな期待を寄せている。
- ・2012 年に静岡県内 162km が開通し、更に 2020 年には 6 車線化がなされ、安全で快適な高速移動や、企業立地の増加、観光交流人口の拡大など、大きな効果をもたらしている。
- ・2022 年に伊勢原大山 IC～新秦野 IC が開通し、利便性が向上している。新東名の開通に合わせて周辺のまちづくり等にも着手しており、引き続き着実に事業を推進していただきたい。
- ・高松トンネルは技術的に難易度が高く、自然的要因から厳しい条件下での施工となるが、自然環境に配慮しつつ安全を最優先に、2027 年度の開通を目指して一日も早い開通をお願いする。
- ・今後とも工事の進捗状況等について丁寧に説明していただくと共に、定期的に情報提供をお願いしたい。

以 上